

2023年(令和5年)

第43号

(1月15日)



発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

京都市はたちを祝う記念式典 ～場外誘導で式典を支える～



令和5年の京都市はたちを祝う記念式典が1月9日、左京区のみやこめっせで開催され、約4,500人の新成人が参加しました。

新型コロナウイルスの感染防止対策として会場の収容人数を制限し、3回に分けて行われました。

第1部は11時30分～12時、第2部は14時30分～15時、第3部は17時～17時30分でそれぞれ同じ式典が執り行われ、第3部の式典後は日が落ち、会場周辺が暗くなっていました。

丸一日のボランティアにも京都教会青年部及び若手壮年からは場外誘導担当として8名が参加し、成人者入場時には「おめでとうございます」、退場時には「お疲れさまでした」の声かけを実践。新成人の反応はさまざまでしたが、「ありがとうございます」と会釈をされる方もおられたようで、厳粛な中にも心のこもった式典の一助になったようでした。



新年祭 ～教会戒名室で挙行～

1月10日午後、八坂神社の神職のご出仕をいただき、京都教会戒名室において新年祭が挙行されました。毎年行われるこの新年祭は、教会の戒名室の神棚に八坂神社のお社が分社されていることにより挙行されています。

今年も中村教会長はじめ教会役員代表が参列し、新型コロナウイルスの感染の終息と地域社会、国家、世界の安寧を祈念し祈りを捧げました。



乙訓明社募金活動 ～昨年末に助け合い運動～

乙訓支部は昨年の12月4日及び11日、社会福祉協議会（以下：社協）主催の歳末助け合い募金活動に乙訓明るい社会づくり運動の会として参加しました。阪急大山崎駅には7名の会員と社協担当者が参加し12,775円の浄財が、同長岡天神駅には小学生も含め11名の会員が参加し29,378円の浄財が、同東向日駅では8名の会員と社協担当者が参加し13,691円の浄財が集まりました。

なお乙訓明るい社会づくり運動の会は過去2回、地区社協の推薦で、京都府より永年継続で表彰して頂いたこともあり、今回も喜びをもって参加することが出来ました。



令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧ください。 <https://rkk-kyoto.jp/>